

令和2年度 社会福祉法人春風会運営方針

理事長 南波 和憲

平成11年4月社会福祉法人春風会としてやまゆり荘をオープン以来22年目を迎えます。地域における老人介護への要請は、介護保険の定着とともにますますその重要度を増しています。

本年は、2月からのコロナウイルス感染症の危機により、施設介護に対する予防措置の重要性が改めて認識されています。インフルエンザをはじめ、感染症が施設内に入った時、その施設における介護体制によって利用者の生命にまで影響を及ぼします。時代のニーズと施策をしっかりと考えながら介護を進めていかなければなりません。また災害時の対応等についても同様であります。

現今、最大の課題は人材不足に対する対応であります。あらゆる産業において職員不足が叫ばれる中、介護は人が人に対して行うものであります。対応していかねばなりません。技能実習生や留学生、また外国人労働者の受け入れを始めました。施設職員もご利用者様、そしてご家族皆様もこの動きにご理解をいただきたいと思えます。

職員一人一人の創意工夫によって少人数での介護スタイルに作り替えるため様々な介護の手法を開発し、また変革していかねばなりません。そこで令和2年度の運営方針を次の通り定めま

令和2年度 運営方針

「品位、明朗、責任」の会訓のもと

『創意工夫』

を心掛けた仕事を実践しよう。

令和2年度運営方針

施設長

理事長より示された「創意工夫」を心掛けた仕事を実践していきます。

- ・運営推進会議、ホームページや施設だよりを通じて施設への理解が深まる工夫をしていきます。
- ・ひとつひとつの業務について、常に無駄なことはないか、別のアプローチ方法はないかを考え行動していきます。
- ・季節感を大切にした行事や食事などを提供していきます。
- ・外国人労働者をはじめ新入職員に対してしっかりした指導を行い定着を図ります。

法人事務長

- ・各拠点で会計をはじめ事務処理が完結するよう努力しよう。
- ・学校訪問や実習生受入など積極的に行い人材確保に努力します。
- ・評議員選任・解任委員会の開催、役員改選準備など進めます。

令和2年度事業計画

総務係

1. 目標

- ・社会福祉の制度を理解し、法人及び施設運営に的確に反映できるよう職務に取り組む。

2. 事業計画

事務

- ・ホームページを活用した情報公開により事業運営の透明性を図る。
- ・事務処理能力を上げるために、事務職員同士の連携を強化する。
- ・現場の声を聞き、職場内の円滑なコミュニケーションの環境づくりに努める。

洗濯室

- ・入居者様と職員が快適で安心して過ごせるよう環境づくりをする。
- ・創意工夫により素材の質の向上とコスト削減に努める。

3. 年間行事計画

4月	労働基準監督署へ 各規定類の届け・報告 はるかぜ発行	10月	はるかぜ発行 お風呂の日
5月	決算書作成 決算理事会	11月	理事・評議員会 お風呂の日 職員ストレスチェック面談
6月	法人資産の変更登記 定例評議員会	12月	年末調整
7月	はるかぜ発行（決算報告）	1月	理事・評議員会 はるかぜ発行
8月	納涼祭 理事会 職員ストレスチェック調査	2月	補正予算作成 全体会議（交通講話）
9月	新規職員採用試験	3月	理事会・評議員会 お風呂の日

令和2年度事業計画
特別養護老人ホームやまゆり荘 生活相談係

1. 目標

- ・「春風接人・秋霜自肅」を心がけ、利用者一人一人を尊重し、皆様が「笑顔」で生活できる施設を目指す。
- ・介護内容の創意工夫、レベルの底上げを図り、情勢に添った研修内容、体制を強化し継続する。
- ・「品位・明朗・責任」の会訓のもと、施設の顔という意識を持ち、親切・丁寧な申込受付対応を行い相談援助技術の向上を図る。
- ・特別養護老人ホームの特徴を活かし、地域における公益的な取り組みへの協力のため各施設で協力をする。

2. 事業計画

- ・ご利用者及びご家族の要望に即した個別ケアを提供するため、十分な話し合いと説明を行い、合意を得てケアプランを作成しサービス提供を行う。
- ・介護保険制度の情報収集に努め、適時入所者及びご家族様へ情報提供する。
- ・「危険予知活動」を徹底し事故予防に努める。
- ・報告・連絡・相談を常に行い各部門間、各施設間の協働を図る。
- ・各委員会の年間研修計画を作成し計画的に実施・運営を行う。
- ・身体拘束ゼロをめざし、解除の取り組みを進める。
- ・入所者検討委員会の健全な運営とグループ分けの見直しを随時行い、入退所を円滑に進める。
- ・介護記録ネットワークを活用して3施設での情報共有を図る。
- ・入所者希望の手作り昼食・手作りおやつを適宜実施する。

3. 年間行事計画

4月	感染症対策委員会 事故発生防止委員会 家族懇談会、お花見 入所者結核健診	10月	感染症対策委員会 インフルエンザ予防接種 救命研修会 身体拘束廃止研修会
5月	褥瘡予防委員会 入所者検討委員会 身体拘束廃止研修会	11月	防災訓練（日中想定） 感染症予防研修会 インフルエンザ予防接種 入所者検討委員会
6月	感染症予防研修会 事故発生防止委員会	12月	インフルエンザ予防接種 褥瘡予防委員会 事故発生防止委員
7月	感染症対策委員会 事故発生防止研修会 入所者検討委員会	1月	感染症対策委員会 入所者検討委員会 事故発生防止研修会
8月	褥瘡予防委員会 納涼祭	2月	看取り研修会
9月	褥瘡予防研修会 事故発生防止委員会 入所者検討委員会	3月	防災訓練（夜間想定） 感染症対策委員会 褥瘡予防委員会 入所者検討委員会

※業務安全確保委員会は毎月実施する。

※身体拘束廃止委員会は拘束対象者がいる場合は毎月実施する。

※入所の受け入れ、ご家族との連絡、関係機関との連絡調整随時。

令和2年度事業計画

特別養護老人ホームやまゆり荘 介護係

1. 目標

「のぞみグループ」

- ・職員一丸となって、より良い介護を行う。
- ・利用者様が四季を感じられるように創意工夫をし、充実した生活が送れるよう支援する。
- ・他部署と協力をし「報告・連絡・相談」を密にする。

「めぐみグループ」

- ・介護のプロとしての自覚をしっかりと持ち質の向上に努め適切な介護をする。
- ・利用者様に四季の変化を感じて頂き、笑顔を引き出す個別ケアを実践する。
- ・他部署と職員間の「報告・連絡・相談」を密にし、働きやすい環境づくりに努める。
- ・基本を忠実に守り、安心・安全・安楽な介護をする。

2. 事業計画

「のぞみグループ」

- ・他部署との連携をとり、心身にゆとりを持てるよう業務改善に努め、笑顔と刺激のある生活を送れるよう支援していく。
- ・利用者様を尊重し、適切な態度や話し方で接し、良好な関係を築く。
- ・職員間での情報共有・連携を図りながら利用者様が安心して生活が送れるようにする。

「めぐみグループ」

- ・利用者様の個々の時間を大切に職員間で見守り・声掛けを行い寄り添った介護を行う。
- ・利用者様に四季を感じて頂けるよう、手づくりおやつ・散歩を創意工夫し笑顔で豊かな生活が送れる様に努める。
- ・利用者様の体調の変化を早期に発見し職員間・看護チーム・相談室と、他部署との連携を密に図る。
- ・プロの自覚を持ち、学びを忘れず、心身にゆとりを持って支援が出来る様な業務改善に努める。
- ・バースデイ休暇・計画年休取を取得する。

3. 年間行事計画

4月	お花見	10月	ドライブ
5月	端午の節句	11月	紅葉狩り
6月	ドライブ	12月	クリスマス会
7月	七夕	1月	初詣・おとそ配り
8月	納涼祭	2月	節分
9月	敬老会	3月	桃の節句

※ 随時手作りおやつ・手作り昼食・お誕生日会を実施

令和2年度事業計画

特別養護老人ホームやまゆり荘 看護係

1. 目標

- ・入所者様が穏やかに安心して生活できるように、相手の気持ちになって看護する。
- ・他職種間との報告、連絡、相談を密に行い、統一性のある看護を提供する。
- ・医師との連携を密に行い、入居者様の健康維持・回復に努める。
- ・基本を忠実に守り、安全確認を徹底する。

2. 事業計画

- ・入所者様の全身状態、精神状態を把握し、適切な看護と医療を行う。
- ・健康診断を実施し、体調不良の早期発見、早期治療をして安定した生活がおくれるよう努める。
- ・すいせんの里、いわびつ荘と連携をとり、受診や往診の体制を整え、円滑に医療が受けられるようにする。
- ・感染症、褥瘡の委員会や研修会を実施し、しっかり対策をする。
- ・歯科往診を円滑に行い、咀嚼・嚥下機能の維持に努める。
- ・看取りの実施に向け研修し、ニーズに合ったケアを提供する。

3. 年間行事計画

4月	感染症対策委員会 入所者結核健診	10月	感染症対策委員会 インフルエンザ予防接種
5月	褥瘡予防委員会 入所者結核健診（精密検査）	11月	感染症予防の研修会 インフルエンザ予防接種
6月	感染症予防の研修会 入所者結核健診（精密検査）	12月	褥瘡予防委員会 インフルエンザ予防接種
7月	入所者様採血検査 感染症対策委員会	1月	感染症対策委員会
8月	納涼祭 褥瘡予防委員会	2月	看取りの研修会
9月	褥瘡予防の研修会 レジオネラ検査 職員腰痛健診	3月	感染症対策委員会 褥瘡予防委員会 レジオネラ検査 職員健康診断

令和2年度事業計画

特別養護老人ホームやまゆり荘 食事係

1. 目標

- ・ご利用者のレベル変動に伴い、細分化された食事内容をより充実させるよう創意・工夫に努める。
- ・行事食・選択食を行い、視野からも楽しめる季節を感じる食事を提供する。
- ・すいせんの里・いわびつ荘と連携をとり、食事運営が円滑に進むように協力する。
- ・社会人、調理職員の自覚を持ち、体調管理をする。

2. 事業計画

- ・食中毒を含む事故防止のため搬送された食品の検品・保管・温度管理を正しく行う。
- ・安全な食事を提供するため、厨房内の状況（水質、調理器具の状態など）・職員の健康状態を含む衛生点検を毎日行い、点検簿に記録する。
- ・ノロウイルス、食品検査を時期に合わせて実施する。
- ・ケアハウスを含む在宅の方の食事について、主食又は主菜を二択で選べる選択食を実施する。
- ・一人1日あたり、1675キロカロリーの標準を目指す。

（身体活動レベルと年齢から「2015年版 日本人の食事摂取基準」を参考にした値。

70歳以上 男性：1850キロカロリー／女性：1500キロカロリー）

3. 年間行事計画

4月	献立会議・灌仏会（草団子）	10月	献立会議・紅葉狩り ハロウィン（洋食メニュー）
5月	端午の節句（柏餅）・母の日	11月	文化の日（新米） 勤労感謝の日（赤飯・お刺身）
6月	入梅（梅を使った料理） そばの日 父の日	12月	クリスマス行事、もちつき 大晦日（年越しそば）、献立会議
7月	献立会議・土用の丑（鰻） 七夕行事（七夕ちらし）	1月	おせち料理、七草粥・献立会議
8月	納涼祭・お盆	2月	節分行事 バレンタインデー（チョコ）
9月	お月見（団子）・お彼岸（おはぎ） 敬老の日（栗ご飯）・献立会議	3月	ひな祭り（桜餅）お彼岸（ぼたもち）

令和2年度事業計画

ショートステイやまゆり

1. 目標

- ・ 品位ある行動、明朗な接遇を意識し、責任を持って業務を行う。
- ・ 確実な危険予知活動と明確な申し送りを徹底し、事故のない介護・基本に忠実な介護を行い、安心・安全な生活をして頂く
- ・ 日々の関わり合いの中で笑顔が見だせるよう、笑顔の介護を実践する。
- ・ 個々の状態把握し、介護のプロとして個別ケアを創意工夫し実践する。
- ・ 年間稼働率90%
- ・ 利用者確保のため、空き室の情報提供を行い居宅事業所との連携を図る。
- ・ 施設と在宅の中間施設として、在宅介護されているご家族を支援する。
- ・ 研修会等に積極的に参加し知識・技能の向上に努める。

2. 事業計画

- ・ 記録システムを活用し、職員間での情報共有をする
- ・ レクリエーションの時間を充実するようにする。
- ・ 毎月1回と必要時にケアカンファレンスを行い、他職種との連携をとる。
- ・ 個人担当を決め個々の生活を把握した上で、安心して過ごせる居住環境・安全な介護を提供する。
- ・ 備品管理担当を決め、安全確認を徹底する。
- ・ 行事の立案・計画・実施し、生活の中に楽しみを感じて貰えるようにする。
- ・ 特養入居待機者を受け入れ、スムーズな入所ができるよう各部門間との情報交換を行う
- ・ 送迎時事故がないよう、安全運転を心がける。

3. 年間行事計画

4月	お花見ドライブ	10月	なごみ会
5月	なごみ会	11月	紅葉狩り
6月	運動会	12月	クリスマス会
7月	七夕 サマーコンサート	1月	おとそ配り
8月	納涼祭	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひな祭り

令和2年度事業計画

デイサービスやまゆり

1. 目標

- ・要介護者及び要支援者の利用者様が、その有する能力に応じて在宅で自立した生活が送れるよう、また社会的孤立感の解消や介護者の負担軽減を図れるよう支援していく。

2. 事業計画

- ・利用者様の心身状況を把握し、それぞれの能力に応じた日常生活の自立に向けての支援を行う。
- ・利用者様に利用を楽しみにして頂けるよう「笑顔の介護」と、雰囲気作りに努める。
- ・安心、安全な送迎サービスに努める。
- ・ご家族、支援事業所との連携を密にとり、介護者の負担軽減やサービスの質の向上に努める。

3. 年間行事計画

4月	端午の節句飾り制作 手作りおやつ 運営推進会議	10月	デイサービス1日体験利用 お風呂の日 手作りおやつ
5月	防災訓練 手作りおやつ	11月	リンゴ狩り 防災訓練 お風呂の日 手作りおやつ
6月	あじさい制作 手作りおやつ	12月	クリスマス会・制作 運営推進会議
7月	七夕制作	1月	鳥追い太鼓 節分制作 手作りおやつ
8月	納涼祭 ところてん作り 運営推進会議	2月	節分 ひな祭り飾り制作 手作りおやつ
9月	敬老会のお祝い	3月	ひな祭り お風呂の日 手作りおやつ

* 随時、利用者様のお誕生会を計画

令和2年度事業計画

ケアハウスハーブガーデン

1. 目標

- ・報告・連絡・相談の徹底で職員間の情報共有に努める。
- ・入居者様の介護度が高くなっているため、個々にあったサービスの提供ができるように、関係機関との連絡・調整に努める。
- ・待機者確保に努め、迅速に入居・退居できるように努める。
- ・インフルエンザ・感染症に対し、感染症対策委員会と連携してその発生阻止に努める。

2. 事業計画

- ・記録や確認を確実にしない、ご利用者毎に質の高い支援が提供できる様、報告連絡・相談を徹底する。
- ・ご利用者の年齢や介護度の多様化で必要とされる支援も様々になっている。一人ひとりに合った支援を行っていく。
- ・運動不足の解消とご利用者同志の交流に、毎朝の「ラジオ体操」の継続やパズル等での余暇利用を勧めていく。
- ・ご利用者の様子に変化が生じた時に、それを見過ごす事のないよう日々の様子を見守ると共に、サービス担当者会議を開催し必要な支援提供ができるよう努める。
- ・緊急時に備えた記録等を明確にしておく。

3. 年間行事計画

4月	お花見(桜、水仙まつり) ドライブ	10月	りんご狩り・紅葉狩り 中之条町敬老会
5月	外出(嵩山まつり) 端午の節句(五月人形飾り)	11月	さんま焼き・焼きいも
6月	おそばの日・おすしの日	12月	クリスマス会・お餅つき
7月	七夕・サマーコンサート 天ぷらの日	1月	初詣・鳥追太鼓・繭玉作り どんどん焼き・新年会
8月	外出(中之条祇園)・納涼祭	2月	節分・お雛様飾り
9月	外出(伊勢町祇園)・慶老会、 十五夜・十三夜	3月	桃の節句
毎月	買い物日(毎週)・お茶会(隔週)・懇談会・お誕生日会・手作りお昼 手作りおやつ・映画会・健康測定・受診の付き添い		
毎日	ラジオ体操・パズルでのレクリエーション		
隔月	居室チェック		

令和2年度事業計画

地域公益活動推進室

1. 目標

- ・相談支援事業、防災事業、地域資源との連携事業、介護人材育成事業等を通し、地域の活性化や「つながり」の構築、行政を含む多様な関係機関や個人との連携・協働をもって公益的な活動を行うことを目標とする。

2. 事業計画

- ・「なんでも福祉相談員」群馬県ふくし総合相談支援事業を実施する。
- ・中之条町防災フェアへの参画、施設内防災行事の共催をする。
- ・各種研修等への協力や実習生等の受け入れを支援する。
- ・内部評価とOJTを実践する。
- ・各種会議や協議会等への参加を行い、積極的に地域資源との連携を強化する。
- ・内外の各種研修を受講するなど、自らの資質向上を図り業務を円滑に推進する。
- ・外部研修等の講師をする。

3. 年間行事計画

6月	中之条町防災フェア・外部講師
7月	外部講師
8月	納涼祭・外部講師
9日	「防災の日」行事・外部講師
10月	「施設見学会」・「デイ体験会」
12月	外部講師
通年	<ul style="list-style-type: none">・「なんでも福祉相談」・群馬県災害派遣福祉チーム・介護プロフェッショナルキャリア段位制度・内部評価、OJT・中之条町社会福祉法人連絡会事業

令和2年度事業計画

事業所内保育所 はるかぜ保育所

1. 目標

- ・事業所内保育所として従業員が安心して働けるよう両立支援をめざし多種多様な働き方に対応する。
- ・子ども一人一人が安全に安心した充実した保育所生活ができるような環境に努める。
- ・防災・防犯・救急対策や、訓練と感染症予防への共通理解を深め、事故の無い保育所活動にする。

2. 事業計画

- ・清潔で安全な環境を整え、子ども一人一人が発達段階に応じた保育活動が送れるようにする。
- ・活動や遊び、行事等を通して子どもたちの身体的・精神的・社会的発達の基盤を培う。
- ・保育士が創意と工夫に関与できるようにコミュニケーションを図りながら自身のレベルアップや保育の質の向上のために心掛け研修会等に積極的に参加する。

3. 年間行事計画

4月	お花見散歩	10月	開所記念日 焼き芋 りんご狩り (やまゆり荘)
5月	子どもの日 母の日 第1回健康診断書(内科 歯科)	11月	第2回健康診断 (内科) 防犯不審者対策訓練
6月	父の日 虫歯予防デー	12月	クリスマス会 大掃除
7月	七夕 水遊び	1月	新年を祝う 正月遊び 初詣
8月	水遊び 防災訓練 (消防署来所)	2月	節分 防災訓練(消防署来所) 雪遊び
9月	コスモス散歩 小麦粉粘土作り	3月	ひな祭り お別れ会

※毎月、季節又は行事に応じた製作活動

令和2年度事業計画

小規模特別養護老人ホームすいせんの里

1. 目標

- ・「品位・明朗・責任」の会訓のもと「創意工夫」を心掛けた仕事を実践する。
- ＜笑顔・安心・信頼＞
- ・笑顔：個々の生活を尊重し皆様が「笑顔」で生活できる施設を目指す。
- ・安心：介護の質の向上を図り、皆様が「安心」して支援を受けられるスタッフ育成を目指す
- ・信頼：家族参加型の行事を充実させて、開かれた施設運営を行う。

2. 事業計画

- ・生活習慣を大切にされた個別ケアの提供のため、ご利用者、ご家族と十分な話し合いと説明を行い、合意の上でサービス内容を決定する。
- ・ご家族参加型の行事を充実させる。
- ・施設内指導・研修、施設外研修を積極的に取り入れ、介護人材育成を促進する。
- ・介護ミーティング（月2回）を行い介護内容の改善とスタッフ間の情報共有に努める
- ・運営推進会議開催（年間6回）、原町地区認知症カフェや、ボランティア・実習生等の受け入れを積極的に行い、地域交流と地域貢献活動を行う。
- ・入所申し込み者1人1人に丁寧な対応で向い、各事業所と連携し円滑な入退所を進める。
- ・事故防止研修（年3回）ヒヤリハットを生かした危険予知活動を徹底し事故防止に努める。

3. 年間行事計画

4月	感染症対策委員会 事故発生防止委員会	観桜祭	10月	感染症対策委員会 救命研修会	りんご狩り さんま焼き
5月	褥瘡予防委員会	菖蒲湯 餃子の日 山菜天ぷら	11月	感染予防研修会	紅葉ドライブ 焼き芋
6月	感染症予防研修会 事故発生防止委員会	紫陽花ドライブ アイスバイキング	12月	褥瘡予防委員会 事故発生防止委員会	忘年会 餅つき ゆず湯
7月	感染症対策委員会 事故発生防止研修会	家族懇談会 流しそうめん	1月	感染症対策委員会	初詣 書初め 鳥追い 新年会
8月		かき氷 ます焼きの日	2月	看取り研修会 事故発生防止研修会	節分 フキお焼き 煮込みうどん
9月	褥瘡予防研修会 事故発生防止委員会	敬老会 ハンバーガー の日 すいとん	3月	感染症対策委員会 褥瘡予防委員会	ひな祭り カレーの日

- | | | | |
|------------|--------|------------|--------|
| ※防災訓練 | 5月・11月 | ※家族懇談会 | 7月 |
| ※認知症VR体験会 | 6月 | ※運営推進会議 | 奇数月に開催 |
| ※入所者結核健診 | 7月23日 | ※業務安全確保委員会 | 毎月 |
| ※身体拘束廃止委員会 | 毎月 | ※入所者検討委員会 | 随時 |
| ※感染症対策委員会 | 随時 | | |

令和2年度事業計画

特別養護老人ホームいわびつ荘

1. 目標

- ・第2期の指定管理運営が安定してできる。
- ・介護のプロとしての自覚をもち、笑顔の介護を実践する。
- ・伴走型介護が実践、評価できるよう創意工夫をする。
- ・働きやすく、やりがいのある職場づくりをする。
- ・地域における特養の役割が果たせるよう地域と連携していく。

2. 事業計画

- ・事例検討を通し情報共有し介護サービスの標準化を図る。
- ・キャリアアップの為の外部研修会に年1回以上の参加をする。
- ・入居者様及びご家族様の要望に即したサービスができるよう、十分な話し合いと説明を行う。
- ・身体拘束廃止の取り組みを継続していく。
- ・有給休暇5日以上が全員とれるよう業務の効率化を図る。
- ・入所検討委員会や入所決定会議が健全に行われるよう各事業所と連携して進める。

3. 年間行事予定

4月	花見ドライブ	10月	秋桜祭・りんご狩り
5月	花見ドライブ	11月	紅葉ドライブ・バーベキュー
6月	新緑ドライブ・運動会	12月	クリスマス・もちつき
7月	七夕・流しそうめん	1月	初詣・どんどん焼き
8月	手作りおやつ	2月	節分・手作りおやつ
9月	敬老会・ふるさと祭り	3月	ひな祭り

誕生日会（毎月1回→メッセージカードと生花プレゼント）、原町婦人会（隔月）
定例会（毎月1回）、業務会議（毎月1回）、サービス担当者会議（毎月2回）
手作り昼食やおやつ（隔月）

感染症委員会（5回・研修会2回）	事故発生予防委員会（4回・研修会2回）
褥瘡予防委員会（4回・研修会1回）	入所検討委員会（6回+随時）
防災訓練（2回+災害1回）	身体拘束廃止委員会（1回+随時）
虐待防止委員会（1回+研修会1回）	認知症研修会（4回）
個別事例検討会（12回）	献立会議（3回）
医療的研修会（2回）	技能実習生受け入れ研修会（随時）

